

Title	次号目次 前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1967
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.60, No.7 (1967. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19670701-0163

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

鉄工組合と黎明期の日本労働運動……………飯田 鼎
——日本のクラフト・ユニオンの興亡——

低開発国住民の経済的行動……………矢内原 勝

日本資本主義の再生産構造分析試論Ⅱ……………井村喜代子
——昭和三〇年以降の拡大再生産過程(5)完——北原 勇

ルソー「社会契約論」の……………野地洋行

理論構造と資本主義(下)……………野地洋行

資料・研究ノート

日本におけるゴドウィン研究史(続)……………白井 厚

擬制資本について(下)……………飯田裕康

新刊紹介

前号目次

論 説

M・ウェーバーの方法論における

「主観性」の現代的意義……………富田重夫

比較経済史学とアメリカ資本主義……………中村勝己

資源転換の租税政策……………古田精司
——離陸期における地租の役割——

研究ノート

ヒックス「景気循環論」の一問題点……………市石達郎

資本形成の一般均衡モデルについて……………宮尾尊弘

新刊紹介

編集後記

本号は論説4、資料・研究ノートなしという変わった体裁となった。これは集まった原稿の内容上の成り行きであって、編集委員会が作為を加えたものではない。ただし出来上りが非常に大部になることが予想されたために一部の寄稿者に原稿を極力短くすることを依頼することがあった。快く承諾された執筆者各位に対しこの場をかりてお礼を申し上げたい。

さて本号もそうであったが、最近の三田学会雑誌では若い世代の活躍が目につく。これは理論・政策学会等における研究者の若年化つまり所謂いった分野の学問の進歩ないしは分化の急速であることを反映するものであろう。一口に経済学といっても研究分野の違いはもろろのこと、時代や世代の違いに応じ、程度の差こそあれ研究テーマや接近方法を異にするのが常である。しかしそのような細分化、専門化が行われれば行われるほど、一方において異なる研究分野、異なる世代間の交流の必要性の増大することも事実であらう。

最近の経済学の論文のあるものが、一部の研究者、専門家の興味喪失と悪評をもたらしている理由の一端は数学による「武装」にあると思われる。数学という「言語」がヘブライ語やサンスクリットのように親しみにくい読者の多い実情を考えるならば、若い研究者は少くとも事ごらの本質的な部分を——偉大な経済学者の多くが試みたように——伝統的な経済学の言葉で再考し、再述する努力をおこたってはならないと思う。それによって多くの研究者の意見の交換をはかることができれば学問の向上に寄与するところはきわめて大であらう。

(川 又)

昭和四十二年七月一日発行

◎三田学会雑誌 第六十巻 第七号

定価 二〇〇円(送料)

東京都港区三田二丁目一五番四五号

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 遊 部 久 蔵

電話(43)二二一一

振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区三田五丁目七番三号

図書印刷株式会社

木 山 康 夫

半カ年予約購読料(送料共) 一二〇〇円

一カ年 " " 二四〇〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御中込み下さい。

東京都高輪局区内三田二丁目一九番三〇号

発行所 慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七